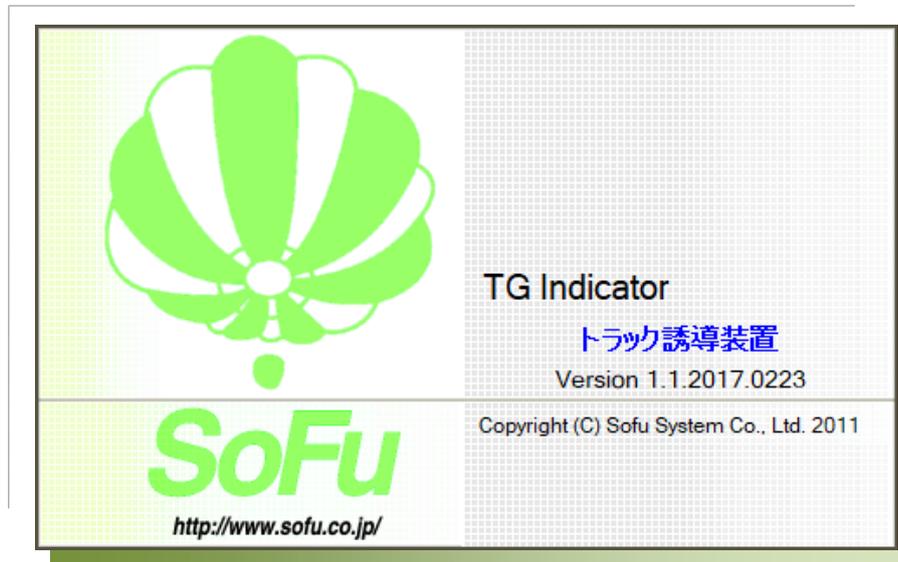


トラック誘導装置



for Windows 第4版

Windows10 対応版

操作説明書

目次

§1. システム概要	2
¶1. TG Indicator 概要	3
■ 概要	3
¶2. システムの起動・メイン画面	4
■ システムの起動方法	4
■ メイン画面の見かた	4
■ セカンドモニタの表示	5
■ 表示器の表示	5
§2. 環境設定	6
¶1. 環境設定	7
■ クライアント設定	7
■ 表示器設定	8
■ 出荷口設定	9
■ メッセージ設定	10
§3. マスタ登録	12
¶1. 会社名登録	13
■ 一覧画面	13
■ マスタを新規登録する	13
■ 既存マスタを編集する	14
■ マスタを削除する	14
§4. 表示器の操作方法	16
¶1. トラック誘導の表示	17
■ 簡単な操作概要	17
■ 入力欄の操作方法	19
■ 通常モードを使用する	22
■ 同一出荷口モードを使用する	23
■ 表示内容を編集する	23
¶2. メッセージの表示	24
■ メッセージを表示する	24
■ トラック誘導表示と、メッセージ表示の切替について	25
§5. データの管理	26
¶1. バックアップ/リストア	27
■ バックアップ(データベースの退避) / リストア(データベースの復帰)	27
■ データベースをバックアップする	27
■ データベースをリストアする	27
¶2. その他の機能	28

■	現在のバージョンを確認する	28
§6.	インストール	30
¶1.	システムのインストール/アンインストール	31
■	各種ツールをインストールする	31
■	TG Indicator をインストールする	31
■	TG Indicator の初回起動について	32
■	TG Indicator をアンインストールする	33
§7.	注意事項	34
¶1.	注意事項	35
■	データ保存場所について	35
■	表示器との通信について	35
■	表示可能な文字について	35

§1. システム概要

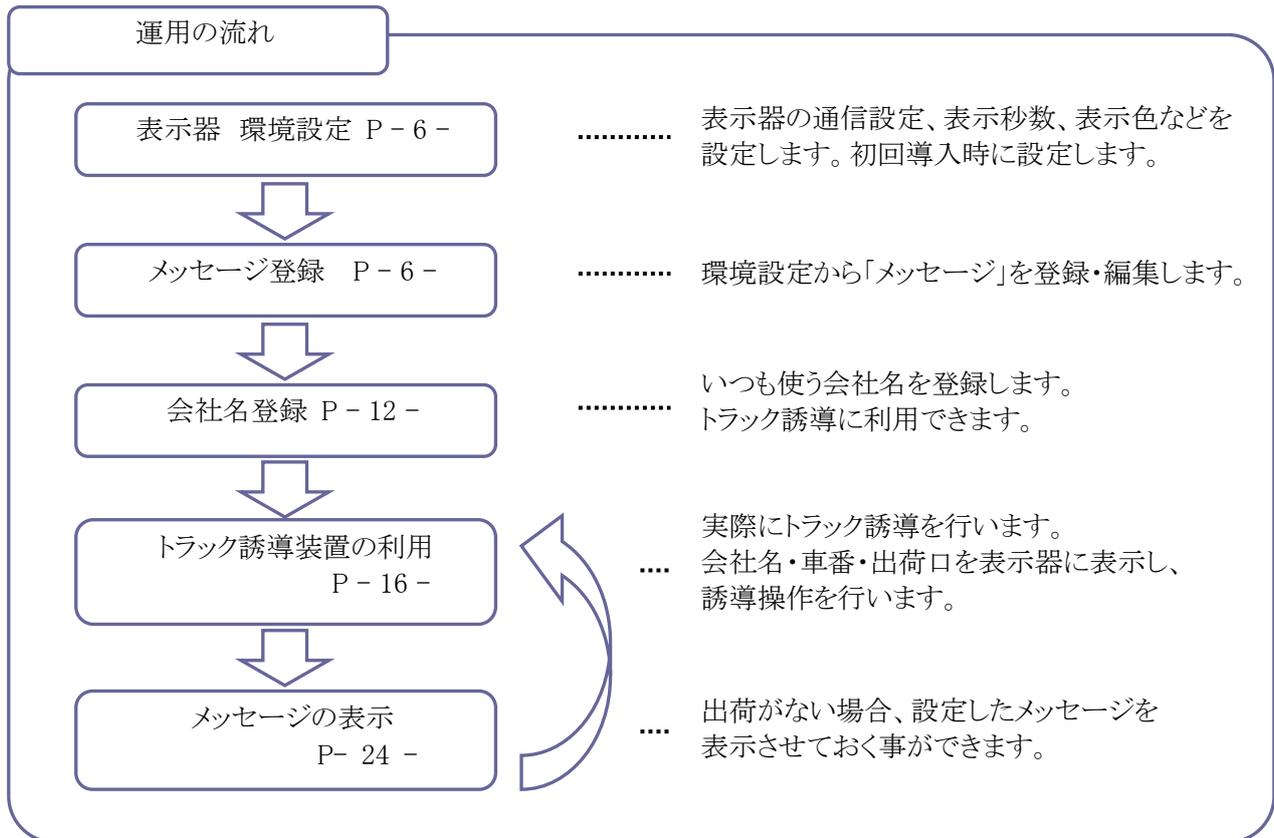
1. TG Indicator 概要

■ 概要

「TG Indicator トラック誘導装置」(以下、本システム)は、下記の機能を提供するシステムです。

1. LED電光表示装置(以下、表示器)に会社名・車番・出荷口を表示し、出荷口までのトラック誘導を行う。
2. 表示器にメッセージを表示し、電光掲示板として使用する。

本システムの運用の流れは下記の通りとなります。



表示器とアプリケーションの通信を正しく行う為には、表示器本体の通信設定と、無線機器の設定が正しく行われている事が前提となります。

通信設定につきましては、別紙「ネットワーク設定 操作説明書」をご覧ください。

2. システムの起動・メイン画面

■ システムの起動方法

システムを起動するには、デスクトップのショートカット「TG Indicator」をダブルクリックします。
もしくは、[スタートメニュー]→[SoFuアプリケーション]→[TG Indicator]をクリックします。

デスクトップ



■ メイン画面の見かた

システムを起動すると、以下のような画面が起動します。
この画面から、トラック誘導表示、メッセージ表示、会社名登録などを行います。
通常はこの画面でトラック誘導の運用を行います。

No.	会社名	車番	出荷口	
1	□□□建設	3 4	本 1	消去
2	●○○道路	7 5 8 1	サ 2	消去
3	×××建設	2 5 7 7	サ 3	消去
4	●×道路	1 5 8 4	サ 4	消去
5	○□舗道	9 1 4	サ 5	消去

①会社名マスタの追加・
削除を行う事ができます。
⇒P - 12 -

②表示欄です。
表示器が表示している
内容の一覧です。
⇒P - 16 -

③トラック誘導入力欄です。
トラック誘導を行う場合、
この欄から入力します。
⇒ P - 16 -

⑤環境設定、バックアップ
などの管理はここから
行います。
⇒ P - 6 -, - 26 -

④メッセージ表示欄です。
表示器を電光掲示板のように使用する場合、
ここから操作します。
⇒ P - 24 -

■ セカンドモニタの表示

セカンドモニタには、メイン画面の内容がそのままフルスクリーン表示されます。
 建屋内にセカンドモニタを配置すると、表示器に何が表示されているか、何が表示待ち(出荷待ち)なのかを確認する事ができます。

表示器 1		トラック誘導装置 モニタ画面	
No.	会社名	車番	出荷口
1	□□□建設	3 4	本 1
2	○○○道路	7 5 8 1	サ 2
3	×××建設	2 5 7 7	サ 3
4	●×道路	1 5 8 4	サ 4
5	○□舗道	9 1 4	サ 5

No.	会社名	車番	出荷口
1	□□□建設	1 2	本 1
2	○○○道路	3 4	本 1
3	●×道路	5 6 7	サ 2
4	◇○×建設	8 9 0	サ 3
5	◇◇◇建設	1	サ 4
6	○□舗道	2	本 1
7	●●●●建設	3 4	サ 2
8	●●●●建設	5 6	サ 3
9	×××建設	1 2 3	本 1
10	×××建設	4 5 6	本 1
11	×××建設	7 8 9	本 1
12			

■ 表示器の表示

表示器は、表示欄の内容が順番に表示されます。

●が付いている行が表示されます。



表示器 1		会社名	
No.			
1	●	□□□建設	
2		○○○道路	
3		×××建設	
4		●×道路	
5		○□舗道	

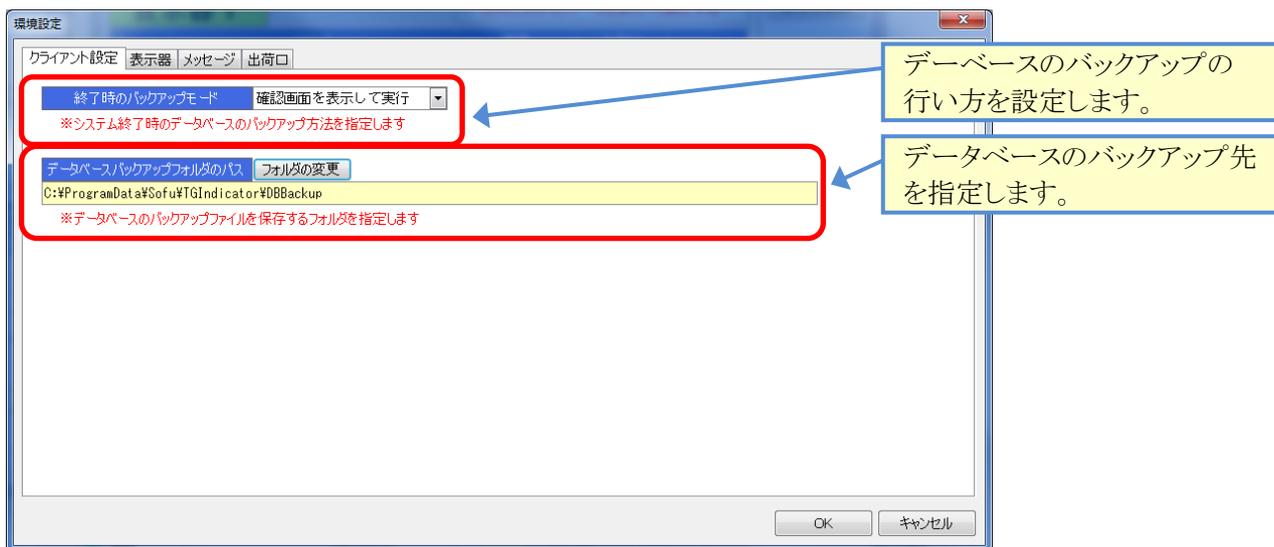
§2. 環境設定

1. 環境設定

■ クライアント設定

環境設定では、表示器の通信設定や、配色表示設定、メッセージ内容を設定する事ができます。

メイン画面から、**環境設定** をクリックすると、システムの環境設定画面が開きます。
「クライアント設定」タブでは、システムのバックアップ設定を行う事ができます。



出力先フォルダの設定を変更する場合、「フォルダの変更」ボタンをクリックすると、フォルダを変更できます。
「終了時のバックアップモード」では、システム終了時にデータベースのバックアップを実行するか否かを設定しておく事ができます。

バックアップファイルは、下記のファイル名で取得されます。

TGIndicatorDB.zdb

なお、このバックアップは毎回同じファイル名で上書きします。バックアップの世代管理を行う場合、ファイルの名前変更とコピーを行ってください。

バックアップモードの設定値

項目	説明
バックアップを行わない	バックアップを行いません。
常にバックアップを実行	常にデータベースのバックアップを行います。
確認画面を表示して実行	システム終了時にバックアップを行うか否かの確認画面を出力します。確認画面で「はい」をクリックした場合のみ、バックアップを実行します。

■ 表示器設定

「表示器設定」タブでは、表示器の通信設定、表示設定、配色などを設定する事ができます。

表示器の名称、通信設定等の基本設定欄です。

表示器の設定を初期化します。導入時、基盤交換時等に使用します。

表示器の表示方法、配色を設定します。会社名・車番・出荷口毎に設定します。

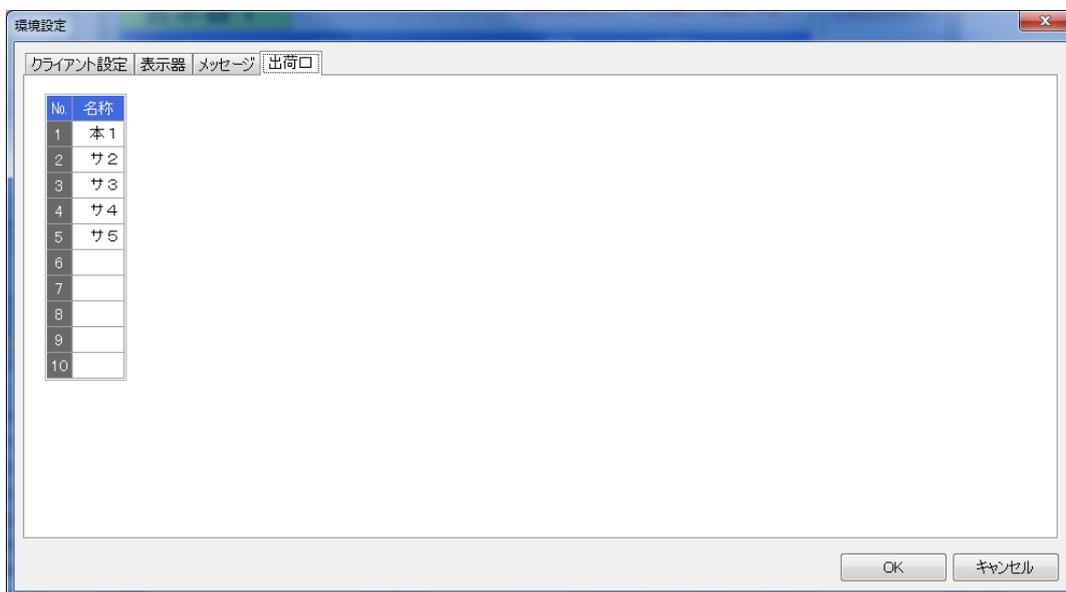
表示器の表示挙動に関する設定です。「装置へ設定値の送信」を押すと設定されます。

項目	説明
表示器名称	表示器の名称を設定します。
IPアドレス	表示器に設定したIPアドレスとポート番号を設定します。
TCPポート番号	この設定は「装置のリセット」ボタンを押しても変更されません。 ※表示器の設定は別紙「ネットワーク設定 操作説明書」を参照。
送信タイムアウト秒数	表示器の通信時、タイムアウト秒数を超えた場合にエラーとなります。エラーが頻発する場合、秒数を増やします。
送信最大リトライ回数	通信エラー時の自動リトライ回数です。エラーが頻発する場合、値を増やします。 リトライ回数を超えるエラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。エラーの場合は通信が上手く行われておりませんので、表示器の状態をよく確認する必要があります。
表示1回当たりのサイクル秒数	表示欄1行(会社名・車番・出荷口のセット)の表示秒数です。 この秒数が経過すると、次行の表示を開始します。 設定値の目安は、「スクロール速度+表示秒数+2秒」程度から調整します。 会社名の有無で表示秒数を変更できます。「会社名なし」の時間を短くします。
装置のリセット	表示器の設定を本システム用の設定に初期化します。 また、内部時計を本システムの時計と合わせます。 なお、この操作を実行してもIPアドレス・ポート番号は変更されません。
スクロール速度	スクロール表示の速度です。 表示方法が「スクロール」「幕引」「一時停止スクロール」の際に有効です。 速度イメージとしては、10文字程度がスクロール速度の秒数で流れます。
表示秒数	会社名・車番・出荷口などの、各表示項目の表示秒数を設定します。 表示方法が「一時停止スクロール」「静止」の際に有効です。

項目	説明
表示器輝度	表示器のLED輝度を設定します。
夜間輝度制限	夜間にLED輝度を下げ、昼間にLED輝度を上げる場合、「する」に設定します。
夜間開始時刻 夜間終了時刻	夜間輝度制限が「する」の場合に有効です。 この時刻範囲の間はLED輝度が「暗い」になります。 それ以外の時刻では、LED輝度が「明るい」になります。
装置へ設定値の送信	赤枠内の設定で、表示器を更新します。 赤枠内の項目については、このボタンを押した時点で更新します。
表示項目	会社名、車番、出荷口のそれぞれについて、表示方法と配色を設定する事ができます。設定内容の詳細は、下行を参照してください。
表示項目一色	配色です。緑、赤、橙から選択します。 設定したLEDがそれぞれ点灯します。(※橙＝緑と赤が点灯)
表示項目一太字	文字を太字にする場合、チェックを入れます。
表示項目一表示方法	文字の表示方法です。 同じ表示方法の組合せの場合、同じタイミングで画面に表示します。 異なる組合せの場合、最初の表示方法を表示後に、次の表示方法を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・スクロール — 右から左へスクロール表示します。 ・幕引き — 左から右に幕引き表示します。 ・一時停止スクロール — 右から左へスクロール後、文字を表示しきったところで一時停止します。 その後、再度スクロールします。 ・静止 — そのまま画面に表示します。
表示項目一装飾	文字の装飾方法です。 <ul style="list-style-type: none"> ・通常 — 通常の表示です。 ・点滅 — 文字を点滅させます。点滅間隔は0.5秒です。 ・反転 — 文字を反転表示します。 ・点滅+反転 — 文字を反転表示したうえで、点滅させます。

■ 出荷口設定

「出荷口設定」タブでは、出荷口の名称を設定できます。



■ メッセージ設定

「メッセージ設定」タブでは、メイン画面のメッセージ表示欄で使用するメッセージを登録します。



項目	説明
メッセージ内容	最大100文字まで登録できます。 ※表示できる文字は制限があります。詳細は、P- 35 - を参照ください。
色	配色です。緑、赤、橙から選択します。 設定したLEDがそれぞれ点灯します。(※橙＝緑と赤が点灯)
太字	文字を太字にする場合、チェックを入れます。
表示方法	文字の表示方法です。 <ul style="list-style-type: none"> ・スクロール — 右から左へスクロール表示します。 ・幕引き — 左から右に幕引き表示します。 ・一時停止スクロール — 右から左へスクロール後、文字を表示しきったところで一時停止します。 その後、再度スクロールします。 ・静止 — そのまま画面に表示します。
装飾	文字の装飾方法です。 <ul style="list-style-type: none"> ・通常 — 通常が表示です。 ・点滅 — 文字を点滅させます。点滅間隔は0.5秒です。 ・反転 — 文字を反転表示します。 ・点滅+反転 — 文字を反転表示したうえで、点滅させます。

Tips

複数の短いメッセージを表示したい場合、7文字単位で複数のメッセージを記載(7文字表示可能な表示器の場合)し、表示方法をスクロール以外に設定します。



この単位で表示・一時停止するように設定します

§3. マスタ登録

1. 会社名登録

■ 一覧画面

メイン画面より、**会社名登録** ボタンを押下すると、会社名マスタの一覧画面が開きます。
よく使う会社名を登録しておく事で、トラック誘導装置への入力が簡単になります。

入力した文字が含まれる会社名を検索します。

操作メニューです。

現在登録されているマスタの一覧が表示されます。

No.	コード	会社名
1	□□□建設	
2	○○○道路	
3	×××建設	
4	●×道路	
5	○□舗道	
6	◇◇◇建設	
7	◇○×建設	

■ マスタを新規登録する

- 新規作成** ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。
- 複写新規** ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。

会社コードは一意になるように入力します。

会社名を入力します。
入力可能な文字は制限があります。
詳細は、P- 35 - を参照

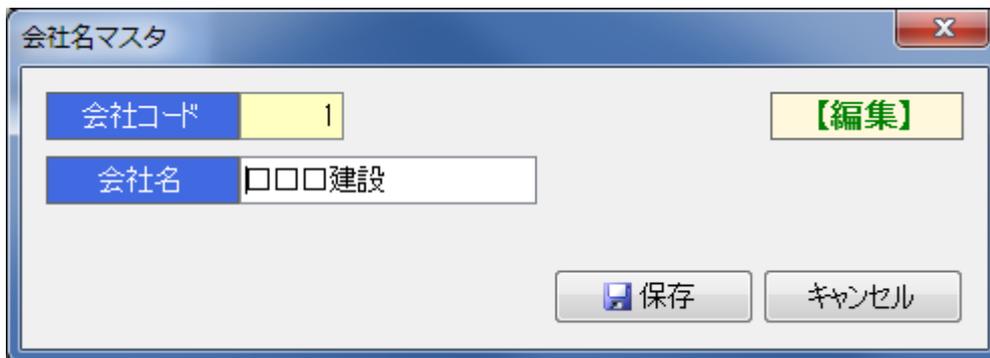
内容を入力後、**保存** ボタンをクリックすると、入力した内容を保存します。
一覧画面の最下段に登録したマスタが表示されます。

■ 既存マスタを編集する

一覧画面から内容を変更したい行を選択し、 ボタンをクリックします。(または、変更したい行をダブルクリックします。)

新規登録と同等のマスタ登録画面が起動しますので、変更したい内容を入力し、 ボタンをクリックします。内容が新しい入力値で更新されます。

なお、編集では、「会社コード」を変更する事はできません。



会社名マスタ

会社コード 1 

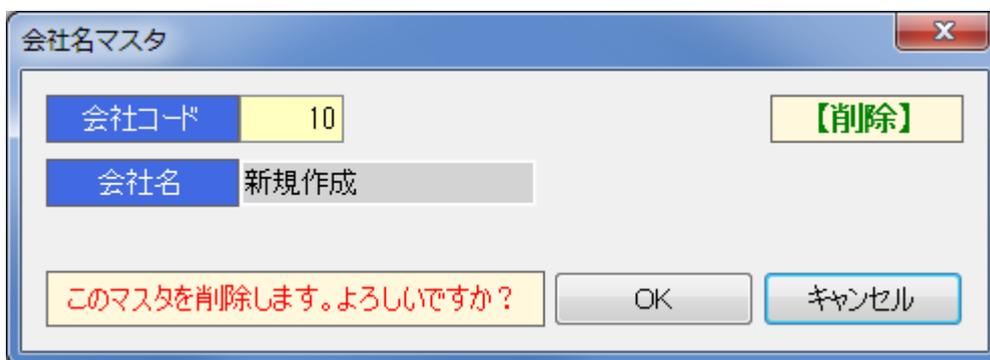
会社名 □□□建設

■ マスタを削除する

一覧画面から、削除したいマスタを選択し、 ボタンをクリックします。削除しようとしているマスタの内容が表示されます。

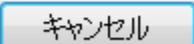
 をクリックすると、選択したマスタが削除されます。



会社名マスタ

会社コード 10 

会社名 新規作成

このマスタを削除します。よろしいですか?  

§4. 表示器の操作方法

1.1. トラック誘導の表示

■ 簡単な操作概要

トラック誘導装置を利用するには、メイン画面中央にあるトラック誘導入力欄を使用します。

会社名・車番・出荷口いずれかを入力後、**表示器へ**をクリックすると、表示器に内容が送信されます。

1. 表示内容の決定

表示器 1
 出荷口の同じデータを表示可能にする

No.	会社名	車番	出荷口	
1				消去
2				消去
3				消去
4				消去
5				消去

No.	会社名	車番	出荷口			
1	1□□□建設	1 2 3 4	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2				表示器へ	削除	挿入
3				表示器へ	削除	挿入

①会社名を入力します。
会社コードを入力すると、該当する会社名が表示されます。
直接入力もできます。

②車番、出荷口を入力します。
出荷口は、環境設定に登録した行Noを入力则表示されます。

③内容の入力後、「表示器へ」をクリックします。

2. 表示器の状況確認

表示器 1
 出荷口の同じデータを表示可能にする

No.	会社名	車番	出荷口	
1	● □□□建設	1 2 3 4	本 1	消去
2				消去
3				消去
4				消去
5				消去

No.	会社名	車番	出荷口			
1				表示器へ	削除	挿入
2				表示器へ	削除	挿入
3				表示器へ	削除	挿入

この欄に表示されている内容が表示器に表示されます。
配色は表示器と同じイメージで表示されます。※装飾は再現されません。

3. 表示器から表示を消す

表示器 1				<input type="checkbox"/> 出荷口の同じデータを表示可能にする		
No.	会社名	車番	出荷口			
1				消去		
2				消去		
3				消去		
4				消去		
5				消去		

No.	会社名	検索	車番	出荷口	表示器へ	削除	挿入
1		検索			表示器へ	削除	挿入
2		検索			表示器へ	削除	挿入
3		検索			表示器へ	削除	挿入

表示を消したい場合、「消去」をクリックします。

Tips

表示器で現在表示中の行を消去した場合、表示器はその行を最後まで表示し終えてから消去します。
※画面の表示欄、セカンドモニタ上はすぐに消去されます。

4. 複数行の表示

表示欄は、5行まで同時に表示を行う事ができます。

表示器へ ボタンをクリックすると、表示欄の最後尾に対して追加します。

表示順は上から順に表示され、現在表示している行の左端には●が表示されます。

また、必ず上に詰めて表示されるようになっており、中央の行を消去した場合も、上に詰められます。

現在表示している行です。

表示器 1				<input type="checkbox"/> 出荷口の同じデータを表示可能にする		
No.	会社名	車番	出荷口			
1	□□□建設	1 2 3	本 1	消去		
2	● ○○○道路	4 5	サ 2	消去		
3	× × ×建設	6 7 8	サ 3	消去		
4				消去		
5				消去		

5行すべて表示が埋まっている場合、「表示器へ」ボタンを押しても行を追加する事ができません。

下記のメッセージが表示されます。

この場合、出荷の終わった行を「消去」し、5行未満にする事で行の追加が可能になります。



■ 入力欄の操作方法

入力欄では、12個までのトラック誘導内容を入力しておく事ができます。
 入力欄の内容は表示器には表示されません。 ※セカンドモニタには表示されます。
 なお、表示器に送るには、会社名、車番、出荷口いずれかの内容が入力されている必要があります。

使い方としては、出荷受付後、入力欄に内容を入れ、表示の準備をしておきます。
 その後、出荷口に誘導するタイミングで **表示器へ** ボタンをクリックし、内容を表示器に表示します。

No.	会社名	検索	車番	出荷口			
1	1 □□□建設	検索	1 2	1 本1	表示器へ	削除	挿入
2	2 ○○○道路	検索	3 4	1 本1	表示器へ	削除	挿入
3	4 ●××道路	検索	5 6 7	2 サ2	表示器へ	削除	挿入
4	7 ◇○×建設	検索	8 9 0	3 サ3	表示器へ	削除	挿入
5	6 ◇◇○建設	検索	1 4	サ4	表示器へ	削除	挿入
6	5 ○□舗道	検索	2 1	本1	表示器へ	削除	挿入
7	●●●●建設	検索	3 4	2 サ2	表示器へ	削除	挿入
8	●●●●建設	検索	5 6	3 サ3	表示器へ	削除	挿入
9	3 ×××建設	検索	1 2 3 4	1 本1	表示器へ	削除	挿入
10	3 ×××建設	検索	5 6 7 8	1 本1	表示器へ	削除	挿入
11	3 ×××建設	検索	9 0 1 2	1 本1	表示器へ	削除	挿入
12		検索			表示器へ	削除	挿入

入力文字が含まれる会社名を検索します。空欄の場合、全ての内容を表示します。

1. 会社名の入力(検索・登録)

No.	会社名	検索
1	1 □□□建設	検索

会社名マスタのコードを入力するか、直接入力します。

検索ボタンをクリックすると、会社名マスタが起動します。該当の会社名を選択した上で、OKボタンをクリックします。
 ※ダブルクリックでも選択できます。

会社名検索

会社名 検索

No.	コード	会社名
1	5	○□舗道
2	4	●××道路
3	3	×××建設
4	2	○○○道路
5	1	□□□建設
6	6	◇◇○建設
7	7	◇○×建設

新規作成 OK キャンセル

会社名マスタ

会社コード 【新規作成】

会社名

保存 キャンセル

会社名が存在しない場合、新規作成ボタンをクリックします。新しいマスタを登録する事ができます。

重要!

会社名の入力時、表示器に表示不可能な文字(旧字体など)は「?」が表示されます。
 このような文字は、他の文字に置換えてご利用ください。
 会社名欄に表示可能な文字については、表示器上でも表示可能な文字です。
 利用可能な文字の詳細については、P- 35 -を参照ください。

2. 車番、出荷口の入力

車番	出荷口
1 2	1 本 1

出荷口は環境設定の行Noを入力します。
※直接入力はできません。

3. 行の挿入

任意の行に空白行を挿入できます。行を挿入すると、最終行は削除されます。

No.	会社名	車番	出荷口			
1	1 □□□建設	1 2	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2	2 ○○○道路	3 4	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
3	4 ●×道路	5 6 7	2 サ 2	表示器へ	削除	挿入
4	7 ◇○×建設	8 9 0	3 サ 3	表示器へ	削除	挿入

2行目に1行を挿入します。
挿入ボタンをクリックします。

No.	会社名	車番	出荷口			
1	1 □□□建設	1 2	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2				表示器へ	削除	挿入
3	2 ○○○道路	3 4	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
4	4 ●×道路	5 6 7	2 サ 2	表示器へ	削除	挿入

ダイアログでOKを押すと
2行目が挿入されます。

4. 行の削除

任意の行を削除できます。行を削除すると、最終行に空白行が追加されます。

No.	会社名	車番	出荷口			
1	1 □□□建設	1 2	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2	2 ○○○道路	3 4	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
3	4 ●×道路	5 6 7	2 サ 2	表示器へ	削除	挿入
4	7 ◇○×建設	8 9 0	3 サ 3	表示器へ	削除	挿入

2行目を削除します。
削除ボタンをクリックします。

No.	会社名	車番	出荷口			
1	1 □□□建設	1 2	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2	4 ●×道路	5 6 7	2 サ 2	表示器へ	削除	挿入
3	7 ◇○×建設	8 9 0	3 サ 3	表示器へ	削除	挿入
4	6 ◇◇◇建設	1	4 サ 4	表示器へ	削除	挿入

ダイアログでOKを押すと
2行目が削除されました。

5. 入力の復帰

入力欄・表示欄は、ともにシステム終了時の最終状態を覚えています。
システムを起動すると、前回終了時と同じ画面状態で起動します。

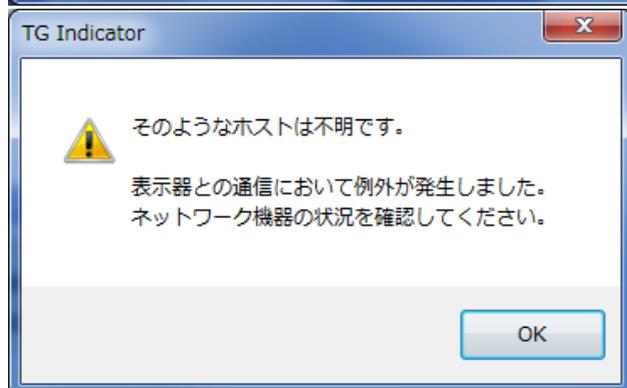
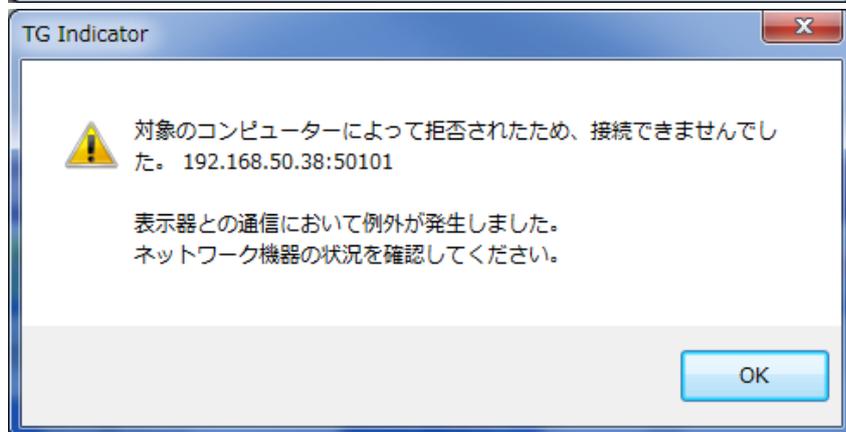
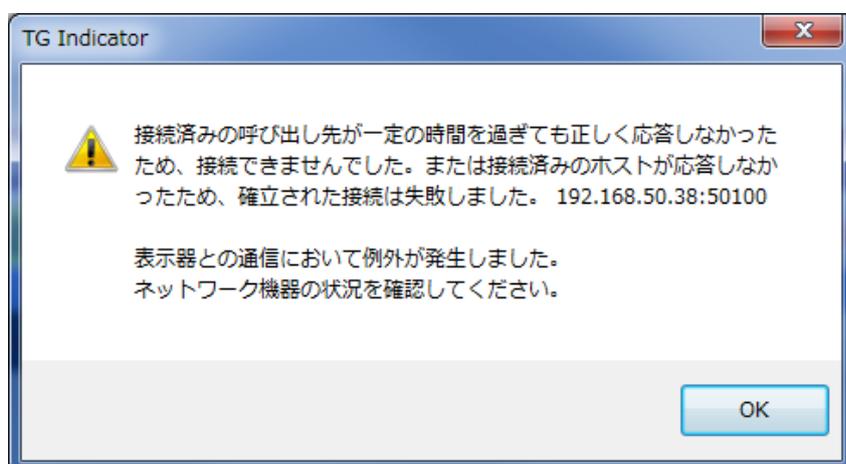
6. 通信エラー

本システムは、表示器との通信に屋外無線を使用します。
屋外に通信のノイズ要因が多い場合、まれに下記のようなエラーが出る事があります。
このようなエラーは、無線通信に失敗した際に表示されます。
エラーが頻繁に起こる場合、環境設定より通信設定を変更する事で状況が改善する可能性があります。

また、数回同じ操作を行っても同じエラーが出力され、状況が改善しない場合、下記の障害が発生している可能性があります。

- ・ノイズとなる要因(通信路の周囲に障害物など)が存在し、無線通信ができていない
- ・表示器、または、無線機の電源が落ちている
- ・表示器・無線機・通信経路のいずれかが破損している

まずは、ノイズ要因の排除、各電源の確認を行ってみてください。



■ 通常モードを使用する

表示器は、トラック誘導を5セット(行)まで表示可能です。上から順に逐次表示されます。
通常モードでは、同じ出荷口に対して複数のトラック誘導を表示することはできないようになっています。
下の例だと、「本1」や「サ1」などの出荷口は、必ず1つのみ表示されます。
これにより、複数の出荷口への出荷が同時並行である場合、トラックの誘導ミスを防止できます。

チェックを外します。

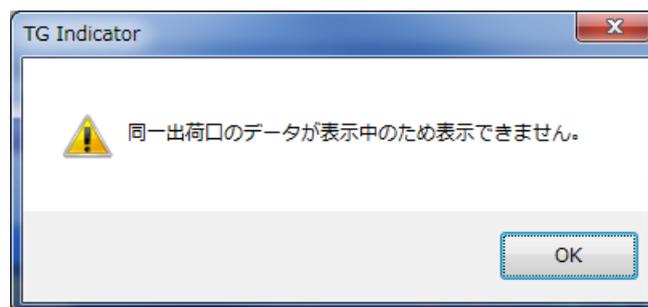
出荷口の同じデータを表示可能にする

表示器 1					
No	会社名	車番	出荷口		
1	□□□建設	3 4	本 1		
2	●○○道路	7 5 8 1	サ 2		
3	×××建設	2 5 7 7	サ 3		
4	●×道路	1 5 8 4	サ 4		
5	○□舗道	9 1 4	サ 5		

No	会社名	車番	出荷口			
1	□□□建設	1 2	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2	○○○道路	3 4	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
3	●×道路	5 6 7	2 サ 2	表示器へ	削除	挿入

同じ出荷口は1つだけが表示できます。

既に表示欄に出荷口があるものを、入力欄から「表示器へ」ボタンで送ろうとしても、送る事はできません。
下記のメッセージが表示されます。
この場合、出荷が終わってから、出荷口が同じ行を「消去」してください。行の追加が可能になります。



■ 同一出荷口モードを使用する

同一出荷口の出荷が連続する場合、「出荷口の同じデータを表示可能にする」欄のチェックを入れます。このチェックを入れると、同一出荷口でも表示器へデータを送る事が出来るようになります。

チェックを入れます。

表示器 1				
No.	会社名	車番	出荷口	
1	□□□建設	3 4	本 1	消去
2	□□□建設	1 2	本 1	消去
3	●○○○道路	3 4	本 1	消去
4	○□舗道	2	本 1	消去
5	×××建設	1 2 3	本 1	消去

No.	会社名	検索	車番	出荷口	表示器へ	削除	挿入
1	3 ×××建設	検索	4 5 6	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
2	3 ×××建設	検索	7 8 9	1 本 1	表示器へ	削除	挿入
3		検索			表示器へ	削除	挿入

表示 No.	表示内容
No 1	今回 [会社名] → [車番][出荷口]
No 2	次回 [会社名] → [車番][出荷口]
No 3	次々回 [会社名] → [車番][出荷口]
No 4	[会社名] → [車番][出荷口]
No 5	[会社名] → [車番][出荷口]

同じ出荷口でも表示が可能です。

このモードでは、トラック誘導の順序を把握するため、行によって表示内容が変わります。会社名の先頭に、「今回」「次回」などを追加して表示します。

■ 表示内容を編集する

表示器に表示している内容を変更したい場合、メイン画面上部の「表示内容の編集」ボタンをクリックします。

表示器 1

表示内容の編集

表示内容の編集

No.	会社名	車番	出荷口
1	○○道路様	1 0 0 1	本 1
2	●△△工務店様	3 5 4	サ 2
3	◎◎不動産様	8	サ 5
4			
5			

OK キャンセル

現在編集中の内容を編集できます。
※出荷口はIDを入力します。

OKボタンをクリックすると、
編集した内容が反映されます。

2. メッセージの表示

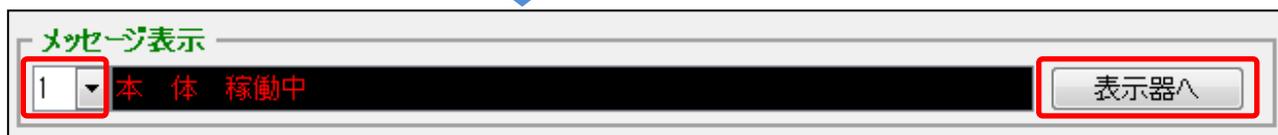
■ メッセージを表示する

出荷が無い場合などで表示器をトラック誘導に利用しない時間は、通常の電光掲示板として使用できます。表示されたメッセージは、消去ボタンをクリックするまで出力されたままとなります。メッセージは、アプリケーションを終了しても表示器に表示されたままとなります。消去忘れにご注意下さい。

メッセージ表示は、メイン画面下段のメッセージ表示欄を使用します。

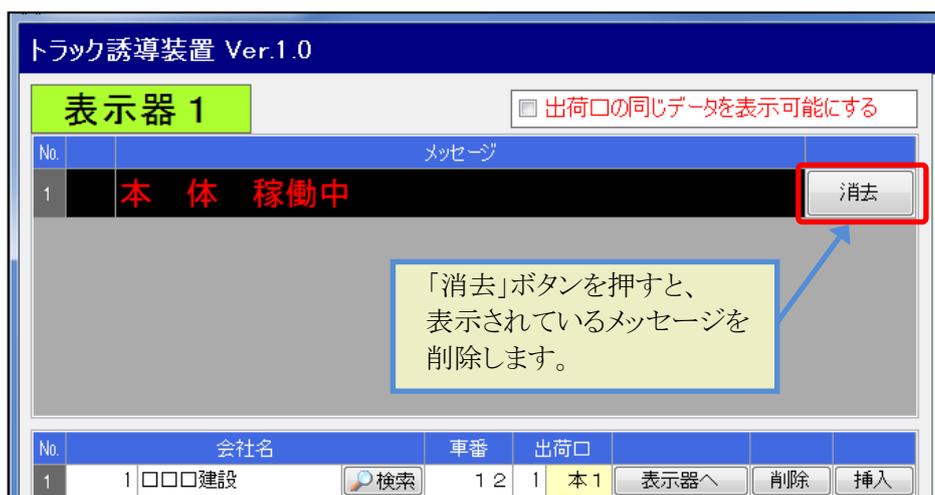
表示するメッセージは、環境設定から登録したものを利用します。

※メッセージの登録方法は環境設定[P- 7 -]を参照ください。



コンボボックスから、環境設定で設定したメッセージを選択します。中央にイメージが表示されます。

「表示器へ」ボタンを押すと、画面上部の表示欄が更新され、メッセージが表示器に表示されます。

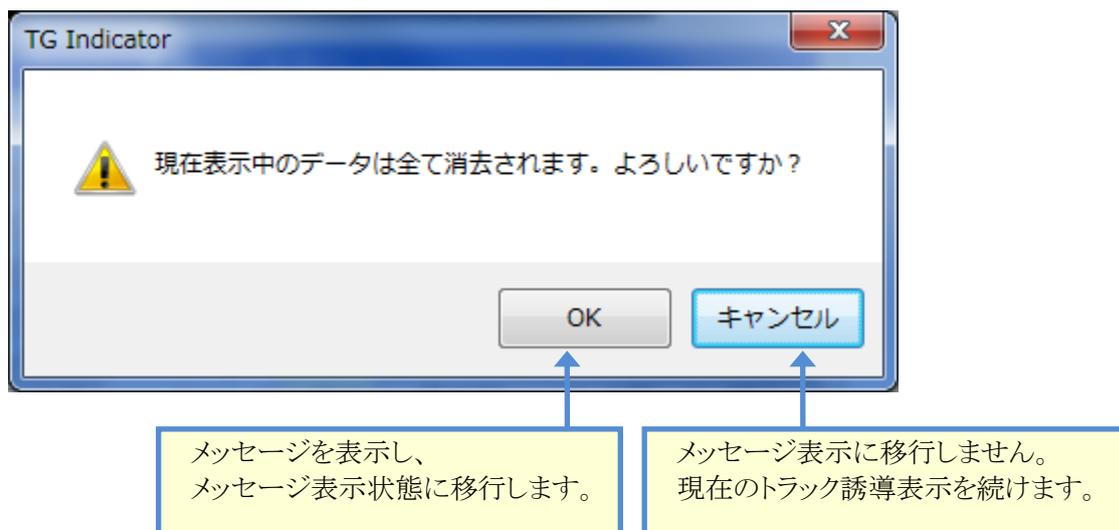


■ トラック誘導表示と、メッセージ表示の切替について

トラック誘導表示とメッセージ表示は、同時に行う事はできません。
トラック誘導表示が5行表示されている状況でメッセージ表示を行った場合、現在のトラック誘導表示を全て消去した上でメッセージ表示を行います。

この時、トラック誘導時に間違っメッセージを表示してしまう誤操作を防止するため、表示欄がトラック誘導を表示中の状態で、メッセージ表示欄の **表示器ハ** ボタンをクリックした場合(トラック誘導表示→メッセージ表示の遷移)に下記のダイアログが表示されます。

なお、メッセージ表示→トラック誘導表示の遷移については、確認ダイアログは表示されません。



§5. データの管理

1. バックアップ／リストア

■ バックアップ(データベースの退避) / リストア(データベースの復帰)

バックアップ、リストア機能は、TGIndicatorが使用している全てのデータを対象として実行する機能です。バックアップは、データベースの内容全て(すべてのフォルダ)をWindowsファイルとして書出します。リストアは、バックアップファイルの内容で、現在のデータベース全ての内容(全てのフォルダ)を置換えます。

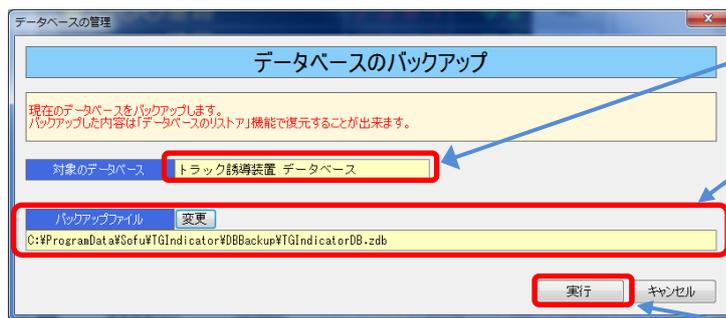
使用方法としては、PCの障害対策として定期的バックアップを行ったり、PCの再セットアップ前のデータ保管に使用したり、データベース全体を退避・復帰する用途に使用します。

バックアップされたWindowsファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用します。

TGIndicatorDB.zdb

■ データベースをバックアップする

メインメニューから、**データベースのバックアップ** をクリックすると、データベースバックアップ画面が起動します。



バックアップ対象のデータベースが表示されます。

出力先のファイル名です。「変更」ボタンをクリックすると、出力先を変更することができます。

「実行」ボタンをクリックすると、バックアップが実行されます。

■ データベースをリストアする

メインメニューから、**データベースのリストア** をクリックすると、データベースリストア画面が起動します。



リストア対象のデータベースが表示されます。

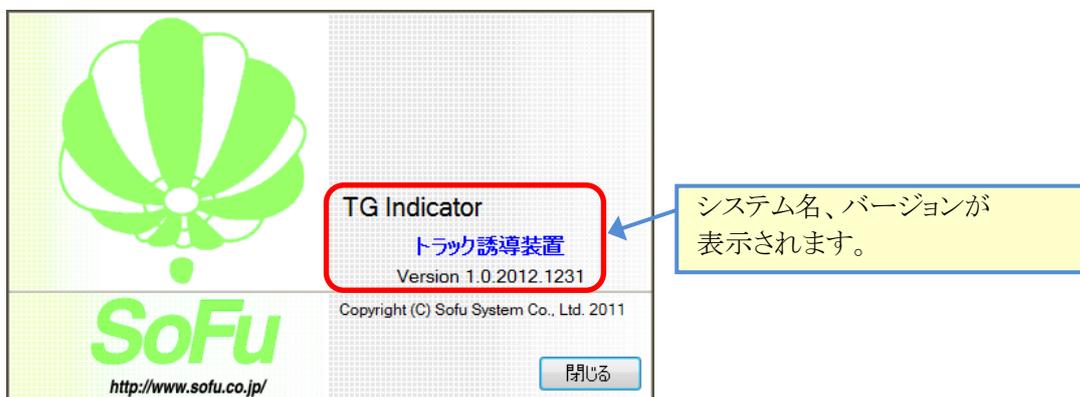
入力対象のファイル名です。「変更」ボタンをクリックすると、入力元を変更することができます。

「実行」ボタンをクリックすると、リストアが実行されます。

¶2. その他の機能

■ 現在のバージョンを確認する

メイン画面の をクリックすると、現在のバージョンが表示されます。



§6. インストール

1. システムのインストール/アンインストール

■ 各種ツールをインストールする

TG Ingecatorをインストールするには、創風アプリケーションツールCDをインストールする必要があります。創風アプリケーションツールCDには、64ビット版のディスクと32ビット版のディスクがありますので、お使いのPCに合わせて使用するCDを選択してください。

※お使いのPCのOS種類やビットを調べるには、「マイコンピュータ(または、コンピュータ)」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

CDをPCに挿入しますと、アプリケーションツールのインストールを行う事ができます。

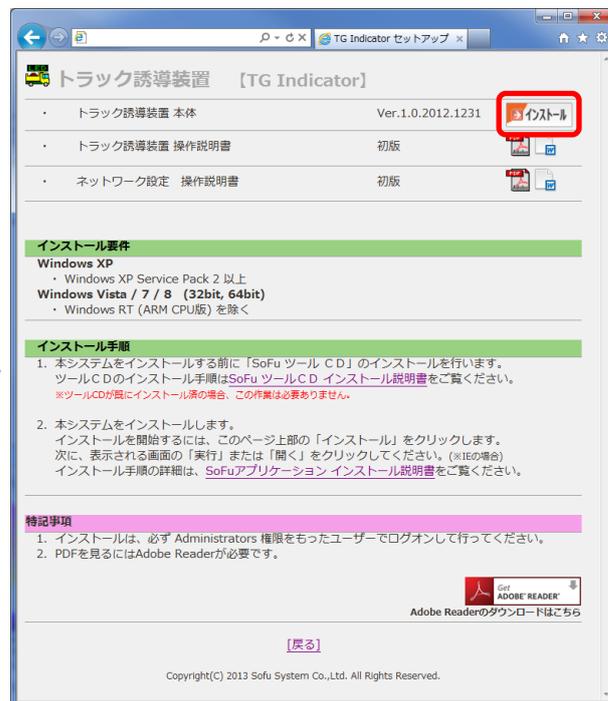
インストールの方法は、CD内のインストール説明書(manualフォルダ内のtool_install.pdf)を参照してください。

※PDFを表示するには、Adobe Readerが必要です。

ツールのインストール完了後は、必ずシステムの再起動を行ってください。

■ TG Indicator をインストールする

1. CDを挿入すると、下記の画面が表示されますので、トラック誘導装置欄の「詳細を見る」をクリックします。続いて表示される画面の「インストール」をクリックします。



2. セットアップが開始されますので、「次へ」をクリックします。



3. 以降の画面も「次へ」を押していくと、システムがインストールされます。
※途中の画面でユーザアカウント制御のダイアログが出る事がありますので、「はい」をクリックしてください。

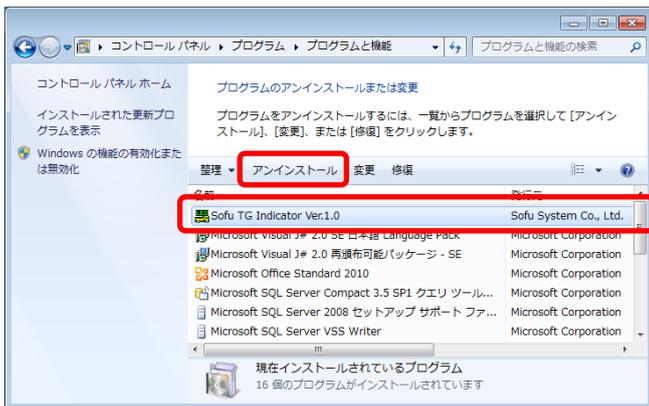


■ TG Indicator の初回起動について

TGIndicatorは、最初の起動時にシステムの自動構成を行います。
本システムを使用する場合、初回構成を行うために、1回だけ本システムの再起動を求められる事があります。
メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。
初回起動時は、システムが利用するデータベースを初期化するため、起動時間が多少かかる事があります。

■ TG Indicator をアンインストールする

1. Windows 7の場合、[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]の順に選択します。
Windows 10の場合、[スタート]→[Windowsシステムツール]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]の順に選択します。
2. 表示されているプログラムの一覧の中から「Sofu TG Indicator」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
(※画面はWindows 7です)



3. 画面の指示に従い、プログラムを削除します。

§7. 注意事項

1. 注意事項

■ データ保存場所について

本システムは、データの保管場所として、データベースである「Microsoft SQL Server 2008 Express Edition」を使用しています。

このため、Windowsファイルを移動してもデータを読む事はできません。

別のPCからデータを読みたいなどの理由でデータを移動したい場合、バックアップ・リストア機能[P- 27 -]を使用する必要があります。

■ 表示器との通信について

本システムは、表示器との通信において、屋外無線を使用しています。

屋外の電波状況によっては、通信がエラーとなる事がまれにあります。

この場合、環境設定より通信設定を変更する事で状況が改善する可能性があります。

また、落雷等で無線・表示器のいずれか、または双方が損傷した場合、内部基盤の交換が必要になる事があります。

この場合、通信設定を再度設定し直す必要があります。

通信設定の方法は、別紙「ネットワーク設定 操作説明書」を参照ください。

■ 表示可能な文字について

表示器は、特殊な漢字や一部の記号は使用できませんのでご注意ください。

使用可能な文字は、「半角英数字、半角カタカナ、漢字(第一・第二水準)、全角記号の一部」になります。

具体的には、下記の仕様が扱えます。

JIS X 208、JIS X 201 カナ、JIS X 201、JIS X 208、NEC機種依存文字の一部

TGIndicator – **トラック誘導装置**

操作マニュアル

第4版 2021年2月

株式会社 創風アドバンス

〒945-0822

新潟県柏崎市穂波町1番25号

TEL 0257-22-8446